

アオダイショウ



アオダイショウは日本を代表するヘビのひとつです。木登りが上手で、木の上の鳥の巣をおそうこともあります。また、家のかべを登って民家に入り、穀物をかじるネズミも食べてくれるため、人々に大切にされる身近なヘビでした。古くから「家の守り神」・「すみつくと家が栄える」とも言われます。

食べ物

カエル・ネズミ・小鳥やその卵など

どく毒なし



角ばった顔つき。目はオリーブ色。



分布

北海道・本州・四国・九州と周辺の島(日本だけにいる種類)

アオダイショウ
ナミヘビ科

(※模様：おとな)

※詳しくはうら面を見てくださいね!

全長

約100~220 cm
(生まれた時は40 cm足らず。平均的にはオスがやや長い。)

●日本で最も大きくなるヘビ。

生活



- 昼に活動。田んぼや畑、民家の周辺の木の上・地上で生活。
- 7~8月に4~17個の卵を産む。



おとなしいが危険を感じると反撃し、青くさいにおいが出る。

からだ いろ もよう
体の色・模様(※)

あおみどり ちやいろ ちか おお
青緑がかったこい茶色に近いものが多く、ぼんやりした

おとな

たて もよう ぜんしん あお み あおだい
縦じま模様があります。全身が青っぽく見えることから「青大



しょう な い
「将」と名づけられたと言われています。.....

め あか からだ しろ こたい
「目が赤く体が白い個体 (=アルビノ)」もいます。

かみさま つか とく
シロヘビは神様の使いとされることもあり、特にシロヘビしか生まれない

いわくに やまぐちけん ゆうめい くに てんねん きねんぶつ してい
「岩国 (山口県) のシロヘビ」は有名で国の天然記念物に指定されています。



こども

こどもは「ニホンマムシ」の模様にとっくりです。

どく もよう に てき み まも かんが
毒ヘビの模様に似ていることで、敵から身を守ることができると考えられています。



とっくり!



どく
毒なし

どく
毒あり

アオダイショウ
(模様: こども)

ニホンマムシ
(模様: こども~おとな)

どく ちゅうい
毒がなくても注意!

ちか み まも こうげき
ヘビはおとなしいものの、近づくと身を守ろうとして攻撃してることがあります。

どく やせいどうぶつ かんせんしょう
毒がないヘビでも野生動物なので、かまれると感染症になることもあります。

いろ へんか おお もよう どく みわ むずか き
また、ヘビは色の変化が多く、模様だけで毒ヘビを見分けるのはとても難しいので気をつけましょう。

⇒★お約束★ヘビに会ったら近づかないで、
そっとしてあげようね!



引用・参考 池内了也 2011年『小学館子ども大百科キッズペディア』/
松井正文他 2004年『小学館の図鑑・NEO⑥両生類・はちゆう類』他

- 「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。
- 「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214

岩手県立博物館

検索

HPIにてバックナンバー公開中!

けんぱくものしりシート

『アオダイショウ』

2023年5月発行 現勢・生物—No.26

■参考文献

- ・池内了他 2011年『小学館子ども大百科キッズペディア』
- ・松井正文他 2004年『小学館の図鑑・NEO⑥両生類・はちゆう類』
- ・中井穂瑞嶺 2021年『ディスカバリー生き物・再発見ヘビ大図鑑 ナミヘビ上科、他編 分類ほか改良品種と生態・飼育・繁殖を解説』
- ・中村健児 他 1978年『原色両生爬虫類図鑑』
- ・日高敏隆 1996年『日本動物大百科 第5巻 両生類・爬虫類・軟骨魚類』
- ・埼玉県立川の博物館 2014年『ふしぎ・かっこいい埼玉と日本の爬虫類』
- ・関 慎太郎 2018年『野外観察のための日本産爬虫類図鑑 第2版』
- ・(財)箱根町観光公社 大涌谷自然科学館 1992年『ガイドブック4 ヘビとトカゲ 箱根の爬虫類』